

「大歩危・祖谷」を中心とした豊富で魅力的な 観光資源を全国発信し、観光地としてブランド化

三好市長(徳島県) 黒川征一



はじめに

四国の真ん中に位置する三好市は、721・42kmと市町村では四



三好市山城町(大歩危・小歩危)にて国内初の「ラフティング世界選手権」を開催予定(平成29年10月3日から9日)

国最大の面積を誇り、その9割が山と川からなる自然に恵まれたまちである。国指定天然記念物・名勝地に指定された大歩危峽や、桃源郷と称される祖谷の原

風景やかずら橋をはじめ、有数の観光資源に恵まれ、インバウンド着地型観光の成功事例として紹介されるなど、豊かな自然や文化遺産の宝庫である。基幹産業である観光産業の振興は重要であり、その発展は地域経済の活性化に大きな影響をもたらす。「三好市秘境ロマン街道」は、平成21年4月、日本風景街道に登録され

た。剣山、大歩危・小歩危峽など、起伏に富んだ自然景観に恵まれており、その奥深い自然は「日本三大秘境」の一つといわれている。また、平家落人伝説が言い伝えられ、県指定重要有形民俗文化財「祖谷のかずら橋」や重要伝統的建造物群保存地区「東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区」など歴史・文化資源も数多く存在している。この奥深い自然(「秘境」と、「平家落人伝説」の言い伝え(「ロマン」)から名付けられた「秘境ロマン街道」。魅力ある地域資源である自然、歴史、文化、風景をテーマとした美しい街道と地域を目指して、秘境らしい空間をイメージした街道づくりに取り組んでおり、その範囲は三好市全域に及ぶ。

山暮らしの知恵と 技がいきづく 祖谷のかずら橋

もともとは祖谷の暮らしを支える生活道だったかずら橋。深い谷と断崖に隔てられた山に住む村人たちにとっては、大水でも流されることのない強固なかずら橋は祖谷の厳しい風土と山暮らしの知恵の結晶でもある。

日本三大奇橋の一つと数えられ、国指定重要有形民俗文化財に指定されている。その昔、祖谷に逃れたとされる平家の落人が、源氏が攻めてきた場合に直ちに橋を切り落とし、その侵入を防ぐために架けたとされる説が残っている。

山奥の茅葺き民家で 快適な暮らし 「落合古民家」

重要伝統的建造物群保存地区に選定されている三好市東祖谷落合では、急峻な斜面に集落が形成されており、古き良き日本の原風景を見ることが出来る。

本市ではこの集落にある築数百年の古民家を改修し、一棟丸ごと貸し切る宿泊施設として観光客に提供しており、現在は、それぞれ趣の異なる8棟が集落の上下に点在している。「語らう」「本を読む」「酒を飲む」——いつもはできない普通のことがかなくこの茅葺民家では、祖谷の暮らしに入り込んだような体験が用意されている。

壮大な大地のパワーを 感じるジオスポット 「大歩危・小歩危」

大歩危・小歩危峡は激流吉野川が長い歳月をかけて固い岩を削り、現在の溪谷を形成した。大歩危・小歩危の基盤となる岩石は1億〜2億年前に深海に降り積もった砂や泥が日本列島の形成期にプレートとプレートとの間でさ

まざまな力を受け性質が変化した変成岩で、大地が隆起して地表に表れたものとても珍しく、2億年前の壮大なドラマの中から大地のパワーを感じ取れるジオスポットとも言える。

また、学術的な価値も高い大歩危は、平成26年3月に国の天然記念物に、平成27年10月には国の名勝にそれぞれ指定された。

そして、ここは世界有数のラフティングスポットでもあり、2017年10月にはラフティング世界選手権が開催される。

地域資源を生かした まちづくりへ

地方創生法では、国、地方の役割を明確にし、地方の人口減



趣の異なる築数百年の古民家が8棟（外観は古の趣ながらバスルームや空調、床暖房など最新の快適設備を完備）

少抑制を目指すことが掲げられている。基礎自治体たる本市の役割では、地域の特色や地域資源を生かした住民に身近な施策を幅広く地方版総合戦略に盛り込み、実施することが期待されている。

豊かな自然景観や歴史文化など地域固有の資源を活用した観光振興により、三好市を訪れる交流人口を拡大し、三好市に興味を持つたりピーターなど三好市ファンである関係人口へ、さらに、将来的には定住人口へつなげるサイクルなどそれぞれの対象に応じた施策を行っており、転出抑制・転入促進につなげ、急激な人口減少の緩和を図っている。

一口メモ

吉野川の舟運と結ぶ 水陸交通の幹線・伊予街道

伊予街道は徳島城の鷲の門を起点として、吉野川の南岸を西へほぼ一直線に結ぶ街道。北岸を通る撫



養街道と平行して走っており、現在の国道192号線とほぼ重なる。江戸時代、徳島藩によって領内に整備された阿波五街道の一つ。

街道の行程は、徳島城鷲の門から、上鮎喰(徳島市)・石井(石井町)・諏訪(石井町)・川島(吉野川市)・瀬詰(吉野川市)・船戸(吉野川市)・舞中島(美馬市)・貞光(つるぎ町)・半田(つるぎ町)・加茂(東みよし町)・州津の渡し・池田村細野峠(三好市)・佐野(三好市)を経て伊予国境に至り、総延長は二十里三町余(約80km)。沿線には水陸交通の交差した要所にあつて古くからにぎわった川島や池田などの町がある。

企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」